

Gen

Chapter 44

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

אֶת־ (直接目的語) H0853	מָלֵא 満たせ H4390	לְאמֹר־ 言って H0559	בֵּיתוֹ 彼の-家の-者に	עַל־ ~の-上の	אֲשֶׁר־ ~の	אֶת־ (直接目的語) H0853	וַיִּצְוֶה そして-命じた H6680	1	
כַּפֵּי 口に H6310	אִישׁ 各自の H0376	כֶּסֶף־ 銀を H3701	וְשִׁים そして-入れよ	שָׂאת 限り H5375	וַיִּכְלֹן 運べる H3201	כְּאֲשֶׁר־ ~だけ	אֹכֶל 食料で H0400	הָאֲנָשִׁים その-人たちの H0376	אֲמֹתָהָת 袋を H0572

אֲמֹתָהָתוֹ
自分の-袋の
[H0572](#)

さてヨセフは家づかさに命じて言った、「この人々の袋に、運べるだけ多くの食糧を満たし、めいめいの銀を袋の口に入れておきなさい。

שִׁבְרוֹ 彼の-穀物の H7668	כֶּסֶף 銀を H3701	וְאֵת そして H0853	הַקֶּטָן 末の者の	אֲמֹתָהָת 袋の H0572	בְּפִי 口に H6310	תְּשִׁים 入れよ	הַכֶּסֶף 銀の H3701	גְּבִיעַ 杯 H1375	גְּבִיעִי 私の-杯を H1375	וְאֵת־ そして H0853	2
				דִּבַּר: 語った H1696	אֲשֶׁר־ ~の	יוֹסֵף ヨセフの H3130	כְּדַבָּר 言葉の-とおりに H1697	וַיַּעַשׂ そして-した			

またわたしの杯、銀の杯をあの子の年の者の袋の口に、穀物の代金と共に入れておきなさい」。家づかさはヨセフの言葉のとおりにした。

וַחֲמֹרֵיהֶם: 彼らの-ろばは H2543	הֵמָּה 彼らと H1992	שְׁלָחוּ 送り出された H7971	וְהָאֲנָשִׁים そして-その-人たちは H0376	אֹר 明けて H0215	הַבֶּקֶר 朝 H1242	3
---	--	---	---	-------------------------------------	--	---

夜が明けると、その人々と、ろばとは送り出されたが、

לְאֲשֶׁר ~に-対して	אָמַר 言った H0559	וַיּוֹסֶף そして-ヨセフは H3130	הִרְחִיקוֹ 遠くなかった H7368	לֹא ない H3808	הָעִיר 町を	אֶת־ (直接目的語) H0853	וַיֵּצֵאוּ 出た H3318	הֵם 彼らが H1992	4
	וְהִשְׁתַּתְּמִם そして-追いついたら H5381	הָאֲנָשִׁים その-人たちの H0376	אַחֲרָיו ~の-後を	רָדַף 追え H7291	קִים 立て	בֵּיתוֹ 彼の-家の-者に	עַל־ ~の-上の		
	טוֹבָה: 善の H8478	תָּתַת ~の-代わりに	רָעָה 悪を	שָׁלַמְתָּם 報いたのか	לָמָּה なぜ H4100	אֲלֵהֶם 彼らに H0413	וְאָמַרְתָּ そして-言え H0559		

町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは家づかさに言った、「立って、あの人々のあとを追いなさい。追いついて、彼らに言いなさい、『あなたがたはなぜ悪をもって善に報いるのですか。なぜわたしの銀の杯を盗んだのですか。』

בוּ יִנְחֹשׁ נֶחֱשׁ וְהוּא בּוּ אֲדֹנָי יִשְׁתָּה אֲשֶׁר זֶה הֲלוֹא 5
 それで 占う 占う そして-彼は それで 私の-主が 飲む ~の これは ~ではないか
[H5172](#) [H5172](#) [H1931](#) [H0113](#) [H8354](#) [H2088](#) [H3808](#)

עָשִׂיתָם אֲשֶׁר הָרַעְתָּם
 したのだ ~を 悪を-行った

これはわたしの主人が飲む時に使い、またいつも占いに用いるものではありませんか。あなたがたのした事は悪いことです』」。

:הָאֱלֹהִים הַדְּבָרִים אֶת-אֱלֹהִים וַיְדַבֵּר וַיִּשְׁגֹּם 6
 これらの 言葉を (直接目的語) 彼らに そして-語った そして-追いついた
[H0428](#) [H1697](#) [H0853](#) [H0413](#) [H1696](#) [H5381](#)

家づかさが彼らに追いついて、これらの言葉を彼らに告げたとき、

חָלִילָה הָאֱלֹהִים כְּדְבָרִים אֲדֹנָי יְדַבֵּר לָמָּה אֵלָיו וַיֹּאמְרוּ 7
 決して これらの このような-言葉を 私の-主は 語るのか なぜ 彼に そして-言った
[H2486](#) [H0428](#) [H1697](#) [H0113](#) [H1696](#) [H4100](#) [H0413](#) [H0559](#)

:הַזֶּה כְּדְבָרִים מַעֲשׂוֹת לְעַבְדֶיךָ
 この そのような-ことを することは あなたの-僕たちが
[H2088](#) [H1697](#) [H5650](#)

彼らは言った、「わが主は、どうしてそのようなことを言われるのですか。しもべらは決してそのようなことはいたしません。

כַּנְעַן מֵאֶרֶץ אֵלֶיךָ הֲשִׁיבֵנו אִמְתָּחַתֵּינוּ בְּפִי מָצָאנוּ אֲשֶׁר כֶּסֶף הֵן 8
 カナンの 地から あなたに 返した 私たちの-袋の 口に 見つけた ~の 銀を 見よ
[H0776](#) [H0413](#) [H7725](#) [H0572](#) [H6310](#) [H4672](#) [H3701](#) [H2005](#)

:זָהָבִּי אוֹ כֶּסֶף אֲדֹנָי מִבַּיִת נִגְנַב וְאֵיךְ
 金を または 銀や あなたの-主の 家から 盗むだろうか そして-どうして
[H2091](#) [H3701](#) [H0113](#) [H1589](#)

袋の口で見つけた銀でさえ、カナンの地からあなたの所に持ち帰ったほどです。どうして、われわれは御主人の家から銀や金を盗みましょう。

אֲנַחְנוּ וְגַם-וְמָת לְמַעַבְדֶיךָ אֵתוֹ יִמָּצָא אֲשֶׁר 9
 私たちも そして-また 死ぬべきである あなたの-僕たちの-中から 彼の-もとで 見つかるなら ~の
[H0587](#) [H1571](#) [H4191](#) [H5650](#) [H0854](#) [H4672](#)

:לְעַבְדִּים לְאֲדֹנָי נְהִיָּה
 奴隷に わが-主の なる
[H5650](#) [H0113](#) [H1961](#)

しもべらのうちのだれの所でそれが見つかったとしても、その者は死に、またわれわれはわが主の奴隷となりましょう」。

אֲשֶׁר הוּא כֵן-כְּדְבָרֵיכֶם עַתָּה וְגַם-וַיֹּאמֶר 10
 ~の である その-とおりに あなたたちの-言葉の-とおりに 今 また そして-言った
[H1931](#) [H1697](#) [H6258](#) [H1571](#) [H0559](#)

:נִקְיִים תְּהִיִּי וְאַתֶּם לְעַבְדִּי לִי יְהִי-אֵתוֹ יִמָּצָא
 無罪に なる そして-あなたたちは 奴隷に 私の なる 彼の-もとで 見つかるなら
[H1961](#) [H5650](#) [H1961](#) [H0854](#) [H4672](#)

家づかさは言った、「それではあなたがたの言葉のようにしよう。杯の見つかった者はわたしの奴隷とならなければならない。ほかの者は無罪です」。

ユダは言った、「われわれはわが主に何を言い、何を述べ得ましょう。どうしてわれわれは身の潔白をあらわし得ましょう。神がしもべらの罪をあばかれました。われわれと、杯を持っていた者とは共にわが主の奴隷となりましょう」。

הַגִּבִּיעַ	נִמְצָא	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	זֹאת	מַעֲשׂוֹת	לִי	חָלְלָהּ	וַיֹּאמֶר	17
杯が	見つかった	~の	その-人で	これを	することは	私が	決して	そして-言った	
H1375	H4672		H0376	H2063			H2486	H0559	
אֶל-	לְשָׁלוֹם	עָלוּ	וְאַתֶּם	עֲבָד	לִי	יְהִי-	הוא	בְּיָדוֹ	
~の-もとへ	平安に	上れ	そして-あなたたちは	奴隷に	私の	なる	彼が	彼の-手に	
H0413	H7965	H5927		H5650		H1961	H1931	H3027	
							פ	אֲבִיכֶם:	
							—	あなたたちの-父の	
								H0001	

ヨセフは言った、「わたしは決してそのようなことはしない。杯を持っている者だけがわたしの奴隷とならなければならない。ほかの者は安全に父のもとへ上って行きなさい」。

נָא	יְדַבֵּר-	אֲדַבְּרֶיךָ	בִּי	וַיֹּאמֶר	יְהוּדָה	אֵלָיו	וַיִּנְשֵׂא	18
どうか	語らせて-ください	わが-主よ	お願いします	そして-言った	ユダは	彼に	そして-近づいた	
H4994	H1696	H0113	H0994	H0559	H3063	H0413	H5066	
אִפְּךָ	יָחַר	וְאַל-	אֲדַבְּרֶיךָ	בְּאָזְנִי	דְּבַר	עֲבָדְךָ		
あなたの-怒りが	燃えては	そして-するな	わが-主の	耳に	言葉を	あなたの-僕に		
H0639	H2734	H0408	H0113	H0241	H1697	H5650		
	כְּפָרְעָה:	כְּמוֹךָ	כִּי	בְעַבְדְּךָ				
	ファラオの-ような-方	あなたのような	なぜなら	あなたの-僕に-対して				
	H6547	H3644		H5650				

この時ユダは彼に近づいて言った、「ああ、わが主よ、どうぞわが主の耳にひとこと言わせてください。しもべをおこらないでください。あなたはパ口のようなかたです。

:אח	או-	אב	לכם	היש-	לאמר	עבדנו	את-	שאל	אדוני	19
弟が	または	父が	あなたたちに	いるか	言って	僕たちに	(直接目的語)	尋ねた	わが-主は	
H0251		H0001		H3426	H0559	H5650	H0853	H7592	H0113	

わが主はしもべらに尋ねて、『父があるか、また弟があるか』と言われたので、

קטן	זקנים	ויילד	זקן	אב	לנו	יש-	אדוני	אל-	ונאמר	20
小さい	老年の	そして-子が	老いた	父が	私たちに	いる	わが-主に	~に	そして-言った	
	H2208	H3206	H2205	H0001		H3426	H0113	H0413	H0559	
:אהבו	ואביו	לאמו	לבדו	הוא	וינתר	מת	ואחיו			
愛している-彼を	そして-父は	彼の-母の	ただ一人	彼だけが	そして-残った	死んだ	そして-兄は			
H0157	H0001	H0517	H0905	H1931	H3498	H4191	H0251			

われわれはわが主に言いました、『われわれには老齢の父があり、また年寄り子の弟があります。その兄は死んで、同じ母の子で残っているのは、ただこれだけですから父はこれを愛しています』。

:עליו	עיני	ואשימה	אלי	הורדהו	עבדנו	אל-	ותאמר	21
彼の-上に	私の-目を	そして-置こう	私の-もとに	連れて来よ-彼を	僕たちに	~に	そして-言った	
			H0413	H3381	H5650	H0413	H0559	

その時あなたはしもべらに言われました、『その者をわたしの所へ連れてきなさい。わたしはこの目で彼を見よう』。

את (直接目的語) H0853 לעזב 離れることが H0251 הנער その-若者は H5288 יוכל できない H3201 לא ない H3808 אדני わが-主に H0113 אל- ~に H0413 ונאמר そして-言った H0559 22

ומת: 死ぬだろう H4191 אביו 父が H0001 את- (直接目的語) H0853 ועזב そして-離れるなら H0251 אביו 父を H0001

われわれはわが主に言いました。『その子供は父を離れることができません。もし父を離れたら父は死ぬでしょう』。

הקטן 末の H0251 אחיכם あなたたちの-弟が H0251 ירד 下らないなら H3381 לא ない H3808 אם- もし H0251 עבדיך 僕たちに H5650 אל- ~に H0413 ונאמר そして-言った H0559 23

פני: 私の-顔を H6440 לראות 見ることは H7200 תסבון 再び H3254 לא ない H3808 אתכם あなたたちと-共に H0854

しかし、あなたはしもべらに言われました、『末の弟が一緒に下ってこなければ、おまえたちは再びわたしの顔を見ることはできない』。

לו 彼に H5046 ונגד- そして-告げた H0251 אבי 私-の-父の H0001 עבדך あなたの-僕の H5650 אל- ~の-もとへ H0413 עלינו 上った H5927 כי ~とき H0251 ויהי そして-なった H1961 24

אדני: わが-主の H0113 דברי 言葉を H1697 את (直接目的語) H0853

それであなたのしもべである父のもとに上って、わが主の言葉を彼に告げました。

אכל: 食料を H0400 מעט- 少しの H0251 לנו 私たちの-ために H0251 שכרו- 買え H7666 שבו 戻って H7725 אבינו 私たちの-父は H0001 ונאמר そして-言った H0559 25

ところで、父が『おまえたちは再び行って、われわれのために少しの食糧を買ってくるように』と言ったので、

הקטן 末の H0251 אחינו 私たちの-弟が H0251 יש いるなら H3426 אם- もし H0251 לרדת 下ることが H3381 נוכל できない H3201 לא ない H3808 ונאמר そして-言った H0559 26

האיש その-人の H0376 פני 顔を H6440 לראות 見ることは H7200 נוכל できない H3201 לא ない H3808 כי- なぜなら H0251 וירדנו そして-下る H3381 אתנו 私たちと-共に H0854

אתנו: 私たちと-共に H0854 איננו いない H0369 הקטן 末の H0251 ואחינו そして-私たちの-弟が H0251

われわれは言いました、『われわれは下って行けません。もし末の弟が一緒にあれば行きましょう。末の弟が一緒になければ、あの人の顔を見ることができません』。

שנים 二人を H8147 כי ~と H0251 ידעתם 知っている H3045 אתם あなたたちは H0251 אלינו 私たちに H0413 אבי 私-の-父は H0001 עבדך あなたの-僕の H5650 ונאמר そして-言った H0559 27

אשתי: 私の-妻は H0802 לי 私に H0251 ילדה- 産んだ H3205

あなたのしもべである父は言いました、『おまえたちの知っているとおり、妻はわたしにふたりの子を産んだ。』

עֶבֶד	הַיָּעָר	תַּחַת	עֲבָדְךָ	נָא	יִשְׁבֹּ	וְעַתָּה	33
奴隷として	その-若者の	～の-代わりに	あなたの-僕を	どうか	留まらせて-ください	そして-今	
H5650	H5288	H8478	H5650	H4994	H3427	H6258	

אֶחָיו:	עִם-	יַעַל	וְהַיָּעָר	לְאֲדֹנָי
兄弟たちと	～と-共に	上るように	そして-その-若者が	わが-主の
H0251		H5927	H5288	H0113

どうか、しもべをこの子供の代りに、わが主の奴隷としてとどまらせ、この子供を兄弟たちと一緒に上り行かせてください、

אִתִּי	אֵינֶנּוּ	וְהַיָּעָר	אָבִי	אֶל-	אֶעֱלֶה	אֵיךְ	כִּי	34
私と-共に	いない	そして-その-若者が	私の-父の	～の-もとへ	上れようか	どうして	なぜなら	
H0854	H0369	H5288	H0001	H0413	H5927			

אָבִי:	אֶת-	יִמְצֵא	אֲשֶׁר	בְּרָע	אֲרֹאָה	כִּן
私の-父に	(直接目的語)	降りかかる	～の	悪い-ことを	見るかもしれない	もしや
H0001	H0853	H4672			H7200	H6435

この子供を連れずに、どうしてわたしは父のもとに上り行くことができましょう。父が災に会うのを見るに忍びません」。